

杭打ちデータ偽装問題 第三者チェック体制創設を 本村議員 衆院国交委

本村伸子衆院議員は3日、国会の閉会中審査で、マンションのくい打ちデータ偽装問題を取り上げ、国交大臣をたどりました。参議院でも辰巳孝太郎議員が追及しました。

本村氏らは、全容解明・実態把握を求めるとともに、建設業界における工事の監理体制や行政等の検査の強化、第三者によるチェック体制創設を訴えました。



本村伸子衆院議員が国会で発言している様子。

偽装が明らかになり、旭化成建材を含む7社のシェアは70%超、関係した元請企業はゼネコン大手5社と、建設業界全体がデータ改ざんを常態化・まん延させていたことになりました。

本村氏は、建築物の安全を事業者確保させる責任は国交省にあるとして、国交大臣に放置してきた責任をたどりました。これに対し、石井啓一国交相は「コンクリートパイル建設技術協会の報告で約2800件以上の自主点検の結果、業界の実態を把握するという目的にあった情報を得られた」との認識を示しました。

本村氏は、業界任せの自主点検は限界があるとの指摘があるとし、「業界全体への調査を実施すると新規工事がストップするため、国交省が「建設業界へ配慮」して

いるのではないかと、住民、利用者の安全を二の次にしていないかと詰め寄りました。

さらに、重層の下請け構造やマンションなどで完成前に販売する「青田売り」(これによって、予算と工期に柔軟性がなくなり、問題があっても下請け企業はモノが言えない)の是正について、対策を求めました。

石井大臣はあくまで、横浜のマンションの調査を経て、原因究明してからと消極的な答弁でした。本村氏は、現行の中間検査では、データ偽装が見抜けなかったこともあり、第三者的な公的な住宅検査官制度のような仕組みが必要だと指摘、さらに元受けも含めた参考人招致をして審議すべきと主張しました。

「野党は共闘」コール 三重・つどい 本村議員が提案説明



本村伸子衆院議員は、5日、三重県委員会が開いた「戦争法(安保法制)廃止の国民連合政府」実現をめざす「つどい」に弁士として参加しました。

会場いっぱい参加者は、若者グループ「WIND」のリードで「野党は共闘」などのコールを繰り返して、「戦争法廃止の政府を」のポスターを掲げました。本村議員は、党が戦争法廃止の「国民連合政府」を実現を呼びかけた経緯や、「提案」の内容を説明。かまいた敏行参院選挙区候補は、党の提案に対して県内の幅広い人たちから賛同の声が上がっている状況を報告しました。

議員、比例候補各地で演説会、つどい、講演

党国会議員、比例候補は5、6日、各地で演説会、つどい、講演会に参加しました。

- ◆本村議員 5日 三重県演説会 愛知・清須演説会 6日 守山区演説会◆島津議員 6日、静岡・三島北上西後援会総会
- ◆たけだ候補 6日、守山、天白、緑の各区の演説会◆井上議員 5日 名古屋市中区市議補選、椿野候補の応援、革新・愛知の会で講演

●名古屋市中区市議補選●

減税市議の死去に伴う名古屋市中区市議補選は6日、投開票が行われ、日本共産党の椿野史候補は1317票(得票率10.79%)を獲得しましたが及びませんでした。当選は減税の佐藤敦氏。投票率は19.19%。党の14年衆院比例は2937票(11.22%)



12月12日(土) 13時30分から 「国民連合政府」提案各界懇談会
名古屋国際会議場2号館224号会議室 提案 井上哲士参院議員より